

高知県立大学における改革に向けての取組について

このたびの本学永国寺図書館の蔵書の除却に関して、県民の皆様たいへんご心配とご迷惑をおかけしました。図書除却に際し、配慮が十分に足りず、再活用の先を学外に求めることなく多数の図書を焼却したことにつきまして、心よりお詫び申し上げます。

本学は、昨年、学外の第三者委員により構成された「高知県立大学等永国寺図書館蔵書除却検証委員会」を設置し、県民の方々からのご指摘並びにご批判が寄せられた今回の除却全般について検証していただきました。同検証委員会から指摘のあった問題の背景となる要因（(1) 規程類の不備やそれに伴う運用、(2) 旧館とさほど変わらない蔵書収蔵能力、(3) 定期除籍を行わず短期間で大量の図書を除却せざるを得ない状況に至ったこと、(4) 図書館の管理運営体制の脆弱さ、(5) 高知工科大学への誤った配慮、(6) 図書館の大学内での位置付けが明確でなかったこと）については、学内資源の有効活用や学外機関との連携を強化していくことにより解消するよう努めているところでございます。

また、同検証委員会より指摘を受けました本学図書館の運営に関する今後の改革案の方針（(1) 大学図書館の理念の明確化、(2) 図書館の管理運営体制の強化、(3) 関連規程や細則等の見直し、(4) 選書及び除籍の基準の明確化と適正な運用、(5) 除籍図書の学内外での再活用、(6) 組織運営と意思決定のあり方の改善）についても、現在、総合情報センター・図書館改革委員会を中心とし、全学で改革を進めているところでございます。

この3月までに、検証委員会で指摘された問題に対し、以下の改善を行い、今年度当初から施行しました。(1) 図書館運営に関する審議機関の権限を明確にし、学長及び図書館運営管理責任者との日常的な情報共有・協議体制を再構築しました。(2) 規程類を全面的に見直し、手続き上の曖昧さが無いものとししました。特に、除籍及び処分に関する責任の所在と手続きを明確にしました。(3) 高知工科大学図書館関係者との協議内容を実務的な調整だけでなく、図書館運営に関する意見交換も行うなどして、連携を強化しております。

そして、除籍図書の処分につきましては、このような問題を二度と起こさないために、県民の皆様などへのお知らせを広く行い、譲渡や売却に努め、再活用の道を最大限広げることで、廃棄する図書館資料を最少にしていく取り組みを進めてまいります。また、今年度中には、図書館理念の明確化、理念に基づく蔵書整備のための具体的な方針を、外部委員の意見も踏まえながら、整備する予定です。

改革途中ではございますが、現在の改革に向けての取組状況を報告させていただきます。なお、詳細については別添の資料をご参照ください。引き続き、更なる改革を進めてまいりますので、ご理解、ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和元年6月17日

高知県立大学学長
野嶋佐由美
総合情報センター・図書館改革委員会委員長
一色健司